

# 埋蔵文化財が語る いにしへの志木

特集

皆さんは、志木市にたくさんの文化財があることをご存じでしょうか。  
中でも、地中に眠る文化財は埋蔵文化財と呼ばれ、大昔の人々がどのような暮らしをしていたのか、また、どのようなできごとがあったのかを知ることができる貴重な資料です。  
今月は、志木市の埋蔵文化財や発掘調査について紹介します。

問合せ／生涯学習課 ☎048(473)1134

## 約3万年前から今日までの歴史を知らせてくれる「埋蔵文化財」

埋蔵文化財とは、住居跡や古墳などの「遺構」、土器や石器などの「遺物」のことで、これらをまとめて「遺跡」ともいいます。

志木市にも、約3万年前から今日に至るまでの歴史が、遺跡として地中に残っています。

### 志木市の「埋蔵文化財」

現在、市内には埋蔵文化財包蔵地(埋蔵文化財の存在が知られている土地)と呼ばれる遺跡が15か所あります。

遺跡の多くは志木地区にあり、市内を流れる柳瀬川や新河岸川に沿った、高い場所に分布しています。また、荒川低地の宗岡地区でも遺跡は確認されており、低地の中でも周囲よりは若干高い場所に形成されています。このことから、大昔の人々は水源に近く、水害の影響が少ない高台を住む場所として選んでいたことがわかります。このため、河川から離れている志木駅周辺などでは、遺跡は確認されていません。

なお、現在確認されている遺跡の範囲は暫定的なものであり、今後の新たな発見により、範囲が広がる可能性があります。

#### 市内の遺跡一覧

名称	規模	所在地
中野遺跡	71,220㎡	柏町1丁目
城山遺跡	82,520㎡	柏町3丁目
中道遺跡	54,420㎡	柏町4・5丁目
塚の山古墳	800㎡	幸町2丁目
西原大塚遺跡	164,960㎡	幸町2～4丁目
新邸遺跡	20,080㎡	柏町5丁目
城山貝塚	900㎡	柏町3丁目
田子山遺跡	74,030㎡	本町2丁目
富士前遺跡	14,830㎡	本町3丁目
馬場遺跡	2,800㎡	下宗岡1丁目
関根兵庫館跡	4,900㎡	宗岡字野垂
宿遺跡	7,700㎡	上宗岡2丁目
市場裏遺跡	15,120㎡	本町1丁目
大原遺跡	1,700㎡	本町4丁目
上宿遺跡	8,600㎡	上宗岡2丁目

### 志木市の遺跡ヒストリー

- 市内最古の石器  
(西原大塚遺跡)



- 大規模な集落が営まれる  
(西原大塚遺跡)



- 市内最古の弥生時代の住居跡  
(城山遺跡)



#### 旧石器時代

- 石焼き調理施設(礫群)の使用  
(中野遺跡)



#### 縄文時代

- 市内に貝塚が形成される  
(城山貝塚、城山遺跡、新邸遺跡)



#### 弥生時代

- 住居跡650軒、方形周溝墓35基を超える  
大規模な集落が営まれる(西原大塚遺跡)



# 38年前から発掘調査を本格実施

市では、昭和60年から本格的な発掘調査を開始し、年間10件前後の発掘調査を行っています。

埋蔵文化財包蔵地で土木工事などが行われる際、確認調査（試験的な掘削）を事前に実施し、遺構や遺物の有無を確認します。遺構や遺物があった場合には、工事主体者と志木市教育委員会で埋蔵文化財の保存協議を行い、工事内容が埋蔵文化財に影響を及ぼすと判断されたときに発掘調査を実施しています。

## 歴史を掘り起こす～発掘調査の流れ～



①表土剥ぎ

遺構や遺物に影響の少ない表面の土を重機で掘り下げて除去し、遺構が確認できる赤土(関東ローム層)の上面を出します。



②遺構確認

調査用の道具で慎重に赤土の上面を削り、赤土との色の違いで遺構を確認します。平面形状や規模から遺構の種類を推定します。



③遺構・遺物精査

土の層を観察するため、ベルト状に土を掘り残します。また、遺物がどこから出てきたか分かるよう出土した位置に残しておきます。



④遺構・遺物の記録

出てきた遺構や遺物の状況などを写真撮影や図化して記録します。記録終了後、掘った土を調査区に戻します。



⑤整理作業

出てきた遺物の水洗いや接合・復元作業、実測図の作成など発掘調査の記録を整理します。



⑥報告書刊行作業

調査内容や遺物の観察記録などをまとめ、報告書を作成します。

## 志木市の歴史を解き明かす～発掘調査員募集～

現在、埋蔵文化財調査員や調査補助員、作業員を募集しています。

発掘調査未経験の人でも応募できますので、詳しくは、10ページまたは市ホームページをご確認ください。



▲市ホームページ

●古墳の周溝と  
思われる溝跡  
(田子山遺跡)



●富壽神寶(P5)と  
県内唯一の銅印(P4)  
(城山遺跡)



●柏の城が築城される  
(城山遺跡)



●野火止用水が開削される  
(新邸遺跡)



### 古墳時代

●市内最古のカマドを持つ  
住居跡(中道遺跡)



### 奈良時代

●新羅郡建郡頃の住居跡  
(城山遺跡)



### 平安時代

●宗岡地区で初となる  
平安時代の住居跡  
(上宿遺跡)



### 中世

●馬の埋葬に使われた板碑  
(城山遺跡)



### 近世

●鉄鍋づくりの鋳物師が  
工房を開く(城山遺跡)



# 発掘された指定文化財

埋蔵文化財の中でも、特に市の歴史・文化を語るうえで欠かせない、学術的価値の高いものを「志木市指定文化財」として指定しています。ここでは発掘調査によって発見された5つの指定文化財と埋蔵文化財保管センター職員イチオシの土器を紹介します。

より詳しく知りたい人は、二次元コードまたは埋蔵文化財保管センター職員にお尋ねください！



## 西原大塚遺跡出土の動物形土製品

この土製品はイヌカシカを模していると考えられており、土をこねて成形して作られたもので、住居跡から出土しました。イヌとして作られたものであれば、全国で唯一の事例です。長さは4.9 cmと小型でかわいらしくもとても貴重な資料です。

**データ** 指定年月日／平成25年3月1日  
出土／幸町3丁目  
時代／弥生時代末期～古墳時代初頭



## 西原大塚遺跡17号方形周溝墓出土遺物

ほろけいしゅうこうぼ 方形周溝墓と呼ばれる首長のお墓から出土しました。つぼがたどき 壺形土器とトリと推測される動物形土製品が志木市指定文化財に指定されています。当時の埋葬儀礼を考えるうえで、貴重な資料です。

**データ** 指定年月日／平成25年3月1日  
出土／幸町3丁目  
時代／弥生時代末期～古墳時代初頭



## 城山遺跡128号住居跡出土の銅印ほか9点

どういん りよくゆうとうき す え き めのめがわら 住居跡から出土した、銅印・緑釉陶器・須恵器・布目瓦が志木市指定文化財に指定されています。中でも、「冨」の一文字が刻まれている銅印は、埼玉県内で唯一の出土です。印を持つ人物は当時の役人または有力者であったと考えられています。

**データ** 指定年月日／平成25年3月1日  
出土／柏町3丁目  
時代／平安時代



## 発掘調査で出土した遺物だらけ！ 埋蔵文化財保管センター

埋蔵文化財保管センターでは、上記で紹介した埋蔵文化財のほか、市内で発掘された遺物を豊富に展示しています。志木市でこんなものが発掘されるのか！という驚きをぜひ体感しにきてください。



柏町1-20-19(第二福祉センター前)  
開館時間／9時～17時  
休館日／土・日曜日、祝休日  
電話番号／048(473)8157

## 記念品がもらえる！ 埋蔵文化財クイズ

下記のクイズの答えを埋蔵文化財保管センターの職員に伝え、全問正解者には埋蔵文化財に関する記念品をプレゼントします。この機会にぜひセンターへお越しください！

**クイズ1** 志木市には何か所の遺跡がある？

①10か所 ②15か所 ③20か所

**クイズ2** 市内最大の遺跡は？

①西原大塚遺跡 ②田子山遺跡 ③中野遺跡

**クイズ3** 志木第三小学校の下に眠っている中世の城の名前は？

①桜の城 ②栗の城 ③柏の城



## 城山遺跡241号住居跡出土の富壽神寶ほか2点

住居跡から出土した、<sup>ふじゆしんぼう</sup>富壽神寶・<sup>てつがま</sup>鉄鎌・<sup>どすい</sup>土錘が志木市指定文化財に指定されています。富壽神寶とは、当時の朝廷が製造していた<sup>せんか こうちようじゅうにせん</sup>銭貨（皇朝十二銭）のうちの一つです。埼玉県内では10枚程度しか見つかっていない珍しいお金です。

**データ** 指定年月日／平成25年3月1日  
出土／柏町3丁目  
時代／平安時代



## 城山遺跡10号住居跡出土遺物

住居跡から出土した、土器・石器・土製品が志木市指定文化財に指定されています。これらは、志木市周辺地域において、弥生時代の中で最も古い中期の段階のものとして位置づけられます。志木の弥生時代のはじまりを示す貴重な資料です。

**データ** 指定年月日／令和3年7月1日  
出土／柏町3丁目  
時代／弥生時代中期



イチオシ!

## 西原大塚遺跡108号住居跡出土土器

今月号の表紙を飾るこの土器は、<sup>じんめんとってつきどき</sup>人面把手付土器です。現在、志木市指定文化財となつてはいませんが、志木市を代表する縄文土器の一つです。人面把手と呼ばれる人の顔と、イノシシと考えられる動物が向かい合う様子がとてもユニークな土器です。

**データ** 出土／幸町3丁目  
時代／縄文時代中期

### 志木市の歴史・民俗を知るならココ！ 郷土資料館

郷土資料館では、市の埋蔵文化財・歴史・民俗資料の展示や年に数回、特別展を開催しています。詳しくは、市ホームページをご確認ください。



◀市ホームページ

### 発掘調査の報告書をネットで！ 全国遺跡報告総覧

奈良文化財研究所が運営する「全国遺跡報告総覧」で、志木市の埋蔵文化財発掘調査報告書が閲覧できます。



◀全国遺跡報告総覧

### 最新の文化財の情報が分かる！ X 志木市の文化財【公式】

X(旧Twitter)では、文化財に関する情報を随時更新しています。最新の情報を見逃さないよう、ぜひ、フォローしてください！



◀志木市の文化財【公式】